

## 祈りの再発見

### イントロダクション

#### 1. はじめに

(1) 現在、出エジプト記の講解メッセージを続けている。

①42回目は、出30章であった。

②その箇所から、香の壇について学んだ。

③祈りについての再発見があった。

#### 2. アウトライン

(1) 出30章にある香の壇

(2) 詩篇10篇の祈り

このメッセージは、出エジプト記と詩篇を通して、祈りの再発見をしようとするものである。

### I. 香の壇（出30：1～10）

#### 1. 構造（1～5節）

(1) 材質

①アカシヤ材

②底部を除いてすべて純金で覆う。

(2) サイズと形状

①縦44cm、横44cm、高さ88cm

②4角形の4隅に角を作る。

③担ぎ棒を通すための金環を作る。

#### 2. 設置場所（6節）

(1) 垂れ幕の手前

①至聖所の「あかしの箱」とは、垂れ幕を隔てて向かい合っている。

#### 3. 使用法（7～9節）

(1) 祭司がそこで香りの高い香をたく。

- ①朝のいけにえを捧げる時間
- ②夕暮れのいけにえを捧げる時間

(2) 禁止事項

①異なった香をたいてはならない。

\*配合の異なったもの

②全焼のいけにえ、穀物のささげ物、ぶどう酒をささげてはならない。

\*これらのものは、祭壇で捧げる。

③民3：4

「しかしナダブとアビフは、シナイの荒野で【主】の前に異なった火をささげたとき、【主】の前で死んだ。彼らには子どもがなかった。そこでエルアザルとイタマルは父アロンの生存中から祭司として仕えた」

4. 香の壇と香は、聖徒たちの祈りを象徴している。

(1) 詩141：1～2

「【主】よ。私はあなたを呼び求めます。私のところに急いでください。私があなたに呼ばわるとき、私の声を聞いてください。私の祈りが、御前への香として、私が手を上げることが、夕べのささげ物として立ち上りますように」

(2) 黙5：8

「彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっぱい入った金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである」

(3) 黙8：3～4

「また、もうひとりの御使いが出て来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上にささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った」

(4) アロンは贖罪の日に、罪のためのいけにえの血を香の壇の角にぬる。

- ①私たちの祈りの中にある欠陥は、キリストの血によって清められる。
- ②私たちの祈りは、キリストを通してのみ、父なる神の御前への香となる。

## II. 祈りの内容（詩10篇）

はじめに

(1) 4種類の香料

- ①ナタフ香
- ②シュヘレテ香
- ③ヘルベナ香
- ④乳香

(2) その日に使用する分だけを細かく砕く。

- ①日々の祈り
- ②砕かれた祈り

### 1. Protest（神への抗議）（1～11節）

（例話）シカゴ在住のクリスチャン コスタリカの少年サッカーチーム2対1で敗れる。

(1) 詩篇は、神への抗議を許している。それどころか、奨励している。

(2) なぜ悪人が栄えるのかは、人生の謎のひとつ。

- ①「【主】よ。なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか」（1節）
- ②迫害や試練に会った信仰者たちが、例外なく叫んできた祈り。
- ③霊的思春期の祈り。

(3) 神を無視して生きる者の悪い性質が克明に描かれている（2～11節）。

(4) 神への抗議は、御前に立ち上る香の煙である。

### 2. Request（神への願い）（12～15節）

(1) 11節と12節の間に、何かが起こっている。

- ①神が神であることの発見

(2) 12節以降で、より高い次元の祈りに移行している。

「【主】よ。立ち上がってください。神よ。御手を上げてください。どうか、貧しい者を、忘れないでください」

(3) 神の視点に立った現状分析がなされる。

①この世はサタンの支配下にあるので、信仰者が試練に会うのは当然のこと。

②神は、決して神の民を忘れておられたのではない。

③神は、悪者の悪も、神の民の苦難も、すべてご存知である。

(4) 執りなしの祈りが始まる。

(5) 願いと執りなしの祈りは、御前に立ち上る香の煙である。

### 3. Adoration（賛美、礼拝）（16～18節）

(1) すでに願いが叶えられたかのような祈りが捧げられる。

(2) 「【主】は世々限りなく王である」（16節）

①神はすべてを支配しておられる。

②このことを確信するなら、私たちの祈りは変る。

(3) 賛美は、御前に立ち上る香の煙である。

### 4. Yield（従順、信頼）（詩11：1）

(1) 「【主】に私は身を避ける」という宣言

①状況がいかに悪くても、先ず信頼を告白している。

(2) 分からないことに目を向けるよりは、分かっていることに目を向ける。

①神は愛なり。

②その愛は、キリストの十字架によって示された。

(3)（例話）子どもによる愛の定義

子どもたちに、「愛とはどういう意味か」という質問がなされた。以下に、その回答の中からいくつかのものを紹介する。

①リベカ（8歳）：おばあちゃんがリウマチになって、前にかがめなくなったの。それで、足の指にマニキュアが塗れなくなった。でもおじいちゃんがいつもそれをしてあげている。おばあちゃんがリウマチになってもね。これが愛よ。

②ビル（4歳）：だれかがあなたのことを愛しているなら、その人があなたの名前を呼ぶ呼び方がちがうよ。その人の口の中では、自分の名前は安全だということがすぐに分かる。

③ボビー（7歳）：愛とは、クリスマスのときに部屋にあるものだよ。プレゼントを開ける手

を休め、耳をすませるなら、それが分かるよ。

④ニッカ（6歳）：愛についてもっと学びたいなら、嫌いな人から始めるべきだよ。

⑤トミー（6歳）：愛とは、小さな老人になった女の人と男の人が、お互いのことをよく知っても、それでも友達でいることだよ。

⑥シンディ（8歳）：ピアノのリサイタルで舞台に立ったとき、心臓がどきどきした。観客を見渡すと、お父さんが笑顔で手を振っているのが見えた。そんなことをしているのは、お父さんだけだった。それを見て、気持が落ち着いた。

⑦ジェシカ（8歳）：本当に愛していないなら、「アイラブユー」と言ってはいけない。でも、本当に愛しているなら、何度も言うべきよ。

(4) 信頼の告白は、御前に立ち上る香の煙である。